

2011.2

発行/坂城町商工会  
 〒389-0601 長野県埴科郡坂城町  
 大字坂城10051番地  
 TEL 0268-82-3351  
 FAX 0268-82-8228  
 E-mail cci@sakaki.com  
 http://www.sakaki.com/cci/

題字/商工会長・鈴木秀典 発行人/関戸啓司 印刷/サンプリント印刷



商工会の組織等に関する法律 第34回国会参議院本会議で可決成立(昭和35年5月13日)



S62年に新築された当時の商工会館



50年前の坂城町商工会資料

祝  
 商工会法施行五十周年

半世紀にわたる先達の情熱

〈主な内容〉

- P 2 商工会法施行50周年記念
- P 3 地域経済振興懇話会 他
- P 4 ねずみ大根まつり
- P 5 まずは地元から
- P 6・7 シリーズおじゃまします
- P 8 青年部・女性部 編集後記

まちかど

節目の年にあたり会員の皆さまに御礼のご挨拶を申し上げます。  
 これまでの商工会の歩みを振り返り、新たな飛躍を目指します。  
 昨年は地域社会への感謝をこめて、全県下商工会で環境・教育文化・生活福祉・健康の分野で記念事業リレー展開を行いました。  
 当会では、その一環として「釣りキチ三平懸賞付き商品券」、歴史考察に基づいた「観光パンフレット作成」事業等を実施しました。

草創期の商工会  
〜戦前・戦後の商工会〜

我国における地域商工団体の起源は、明治10年10月に、渋沢栄一をはじめ当時の東京財界を代表する10名の商工業者が政府の大久保利通内務卿に提出した「商法会議所設立の儀願書」にはじまる。かくして設立をみた商法会議所のなかに、現在の商工会組織に継承されていく系譜が含まれている。

その後、明治23年に商業会議所条例が国の法律として制定されるに至り、商工会は法的規制を受けない任意団体として、商業会議所とは別個の道を歩むこととなった。

商工会は、市町村の行政区域を基盤にした商工業者の地域団体として、自主的に設立され会員の主体的参加に期待しながら発展していった。

大正時代末期以降、各地で商工会法制定運動が活発となるが、激化する戦争、戦後復興などにより延伸となり、昭和35年に長年の懸案であった商工会法の制定を見るに至ったのである。

当会の最古の記録には、昭和29年6月10日付で歳入歳出予算が議案提出、議決されている。当時の予算は54万円で、昭和30年の事業計画書には、以下のように記載された。

昭和34年当時で、全国に商工会は2657以上あったという。そのうち法人格をもつものは112商工会(4.2%)であり、また専門の相談員を置いていたのはわずか5%であった。

昭和30年(法律制定前)の事業計画書

一 本商工会が町村合併に伴う旧坂城町南條村中之條村の各商工会により新坂城町商工会に組織変更を行った趣旨に則り事業活動全般に亘り一層商工業の発揚に努め事業計画書に基づき忠実に遂行し会員の親睦及び地方産業発展を期し本町商工業の繁栄を図りたい

二 商工会の特徴とする金融斡旋事業は昭和29年度においては一千七百万円の斡旋を行い各融資借入者より非常に喜ばれ商工会結末の大大綱となって地方経済に大きな貢献をしているが本年は更に会員各位の協力の下に経営診断等と対照の上融資斡旋を行い

三 当地方の現状と経済界の動向に対処して商工業の企業診断を強化して経営の合理化を図りまた先進地の調査研究に力を注ぎたい

商工会年表

年月日	主要事項
昭和35.12.17	創立総会を開催
40.10.12	坂城町合併10周年記念産業展示会開催
41.6	労働保険事務組合を設立
43.4.25	坂城スタンプ組合設立
43.11.18	第1回義清祭りを開催
44.6.7	中小企業庁が本会業務を視察
46.12.9	商工会青年部を結成
49.2	商工会館竣工
54.8	青年部が全国連モデル青年部の指定を受ける
55.1.22	商工会婦人部結成
4.1	坂城町中小企業能力開発学院設立
10.13	労働大臣表彰を受ける
11.28	中小企業庁長官表彰を受ける
4	青年部が中心となって千曲川坂城太鼓結成
57.9.30	町内に街路灯の設置
58.4.1	商業、工業、建設部会の設置
60.11.22	第1回坂城町工業展開催
62.1.8	商工会館増改築竣工
63.10.14	第1回商業フェア開催
平成5.5.7	観光部会設立
8.3.25	地域CI展開事業の実施 「ステキさかき」ロゴマーク作成
9.8.20	広域イベント「千曲川いかだ下りコンテスト」開催
11.7.1	第1回プレミアム付き商品券発行
12.3.30	坂城町中小小売商業高度化事業構想
14.2	公的三セク「(株)まちづくり坂城」設立
16.5	ステキ・さかき観光協会設立
6	ステキさかき共済スタート
18.11.25	「お客様感謝祭」を開始
20	農商工連携事業・ねずみ大根ブランド化
21.7	釣りキチ三平商品券を発行
21.8	中小企業緊急雇用安定助成金対象の研修会を開催(～22.10)
21.11.13	全国辛味大根フォーラム・同祭りを開催

【参考文献】

- 「商工会法制化二十年史」昭和57年 全国商工会連合会刊
- 「長野県商工会のあゆみ」昭和58年 長野県商工会連合会刊
- 「坂城町工業発達史」昭和63年 坂城町・坂城町商工会刊
- 「商工会法施行三十年のあゆみ」平成3年 全国商工会連合会刊
- 「商工会法施行40周年記念誌」平成13年 長野県商工会連合会刊
- 「地域力 渾身ニッポンローカルパワー」平成22年 地域振興総合研究所刊
- 「商工会法50周年記念式典」平成22年 全国商工会連合会刊
- 「商工連ながのVol1343」平成22年 長野県商工会連合会刊

# 地域経済振興懇話会

町内大手企業(常時雇用者数50人以上)の経営者と商工会役員とが町理事者と坂城町の経済振興について語り合う「地域経済振興懇話会」が平成22年11月16日、坂城テクノセンターで開催されました。

懇談は中沢町長からの町政の重点施策等についての講話を基に、鈴木会長が座長となつて進められました。一昨年のリーマンショック以来、厳しい経済情勢が続いている中で、各企業代表者からは未だ本格的な回復には至っていない状況の報告を含め、現状並びに今後の対応等について熱心に懇談をいただきました。意見等の概要は次のとおりです。

「ここにかけての急激な円高の影響を受けている。我が国が、円高が進む方向を黙認し何の手だても打てないとなると、自ずと国内産業が空洞化して工業生産で他の国との勝負にならない。最近の状況をみてみると、ものづくりの面で競争相手の国々に先を越されていくように思う。」

「リーマンショックの影響を受けた最悪期からは回復してきたとはいえないもの、ピーク時からみれば、まだ

## 急激な円高による影響を懸念 中国・アジアの動向に関心

程遠い。回復してきたとはいえ、納期に間に合わせるため忙しく見えているにすぎない。」

一方、通年の国内総生産(GDP)で日本を抜き世界2位の経済大国となった中国は、国際市場での存在感を高めています。輸出額世界一となったこととを反映してか、やはり中国との関係に言及される発言が目立ったのも今回の特徴でした。その一端を摘示すれば次のとおりです。

「今は、中国頼みの状況。しかし、どう変わるかは予想しづらく、大きな転換点にある。」

「中国のローカルのメーカーは最近では、品質も向上してきており、ライバルメーカーは、日本国内企業というよりも中国、東南アジアであり、受注を持っていかれる場合がある。」

- 【出席者(敬称略)】
- (株)アルプスツール・金井一成
  - (株)ウインテック・清水正行
  - (株)カヤマ・小宮山俊夫
  - (株)栗林製作所・古賀純治
  - 交和物産(株)・小川紀雄
  - 坂城運輸(株)・関戸啓司
  - 信濃機工(株)・村山昌弘
  - (株)竹内製作所・竹内明雄
  - 力石化工業(株)・佐藤洋子
  - (株)都築製作所・小野功
  - (株)西澤電機計器製作所・中島信行
  - 宮後工業(株)・宮後睦雄
  - (株)柳沢精機製作所・柳沢次夫

# 町議会、総務産業常任委員会との懇談会

◆◆◆ 論点、多岐に及び活発に懇談 各部会からも意見をまとめ発表

町の産業振興を図るための意見交換の場として、町議会総務産業常任委員会との懇談会が平成22年11月22日、商工会館で開催されました。懇談会は、安島委員長ほか各委員と春日町議会議長出席のもとで幅広い議論が繰り広げられました。

昨年度から趣を変えてきた形で展開してきておりますが、今回も工業、商業、建設業、農業、観光など町産業振興について、議員各位が日頃考えておられるご提言ご意見をいただきました。

また、これに先立ち、商工会の各部会ごと、今後の地域産業振興のために現段階でそれぞれが抱える課題

等を意見としてまとめ、工業系用途地域の拡張のための土地の有効利用、町内企業の活用促進等などについて、工業・商業・建設の各部会の代表から述べさせていただきました。

当日、交わされた議論は、高齢化が進む中でのいわゆる買い物弱者の解消で買物に困難がないようにといった意見をはじめ、公募型の事業について県内からの応募のうち、坂城町内企業が少なからず採択されたことのように町内企業が頑張っていることに支えられていること、当町はやはり「ものづくり」で活発であるべきで、これに議会としても

## 金融懇談会開催

町内4金融機関と本会正副会長、「マル経資金審査委員会」役員との金融懇談会が平成22年10月27日開催されました。

今回で3回目となりましたが、ようやくリーマンショックから持ち直しつつある時の急激な円高の時期でしたので、やはり、議論は為替が及ぼす影響に集中した感がありました。融資制度の動向、経営体

## 円高関係に論点、集中

質強化研修の実施状況について資料説明のあと懇談が行われましたが、各企業において、今まで仕入れ単価の引下げ、人件費削減など徹底的に合理化が進められてきている現状で、今回の円高の動きは想定をはるかに超えている。ともかく円高の進展スピードの抑制が望まれる、願いはそれに尽きるというのが大勢でした。また、設備資金の増加に



- 【出席者(敬称略)】
- 議長・春日武
  - 委員長・安島ふみ子
  - 副委員長・田中邦義
  - 委員・柳澤澄
  - 委員・円尾美津子
  - 委員・池田博武
  - 委員・塚田忠
  - オブザーバー・産業振興課長・宮崎義也

お手伝いをしていきたいことなど、多岐に及び活発に懇談されました。

- 【出席者(敬称略)】
- 八十二銀行支店長 山崎裕幸
  - 長野県信用組合 支店長 中村勝則
  - 長野銀行支店長 宮崎幸男
  - 長野信用金庫支店長 山下健一
- ついても新規の需要というよりも、今まで見送ってきた更新を今回行わざるを得ないための「更新需要」というのが実情であるとの指摘も示され、なお厳しい情勢にあるとの見方が目立ちました。

### 《表彰者》

役員経験年数を経て、商  
工事業に顕著な功労をお  
さめた方に表彰されるもの  
です。

平成22年度、当会役員で  
は次の5名の方が、表彰さ  
れました。  
(敬称略)

全国商工会連合会会長表彰

《役員功労者表彰》

副会長 山崎 忠承  
理事 富田 健次

長野県商工会連合会会長表彰

《役員功労者表彰》

副会長 関戸 啓司  
理事 池田 尚弘  
理事 滝沢 幸男



ねずみ 平成22年11月13日(土)  
Aコープびんくし店前  
大根まつり

全国10地区から辛味自慢の  
大根が集結。青年部・女性部  
会員協力店が祭りを盛り上  
げました。



### (新) お客様大感謝祭

### 釣りキチ三平懸賞付き商品券

### 〜お陰さまで第2期分完売〜

商品券は一枚500円。  
10枚5000円のセット販売。  
商品券10枚お買い上げに  
つき、一枚無料で抽選券を  
付す。後日、抽選によりく  
じの当選者には賞品をプレ  
ゼントする。この事業は一  
過性のものではなく、年間  
を通して継続するイベント  
に仕立て上げ、プレミアム  
付き商品券とは異なる特性、  
魅力となるよう企画しまし  
た。

しかし、財政厳しい折か  
ら、行政等に頼るプレミ  
ム付き商品券の発行を重ね  
ることは困難な状況にあり  
ます。

#### 【第1回目】

平成22年7月1日

1200万円

(82.8%販売)

#### 【第2回目】

平成22年11月15日

1800万円

(完売)

プレミアム付商品券では  
なく、自己財源に基づき創  
意工夫した商品券ですが、  
2回目は発行分すべて売り  
尽くすことができました。  
有効期限が6カ月であるの  
で町内消費の短期での拡大  
の一助ともなりました。

また、一般町民の方々に  
対しても商工会の活動が理  
解され、PRにも貢献しま  
した。さらに2回目の発行  
時には、販売期間の満了を  
待たずして商品券が完売と  
なり、当選発表の日、賞品  
交換に多くの方が早く見え  
えになりました。  
今後さらに発展できるよ  
う検討してまいります。

# まずは 地元から!!

坂城町商工会青年部 片山木工所 片山和人

今、建設業界は厳しさを増しているといわれています。年々、大工業・工務店をはじめとする建設会社は減少しているのになぜ厳しいのでしょうか。仕事自体が少ないのか？それとも価格競争に負けてしまっているのか？坂城町にも私と同じ建具屋は数年前まで20軒近くあったそうですが、今は数えるほどになってしまったそうです。しかし、視点を変えてみれば商売敵が減っている。いま残っている青年部事業仲間は2代目・3代目の同世代なので横のつながりいわゆる仲間作りもしやすいのです。そう、私を含めこの仲間たちはバブルを知らない世代なのです

私は約5年前父が築き上げた木工所を譲り受けマイナスでもプラスでも無いゼロからのスタートでした。職業訓練学校時代の恩師が『今の時代が不景気でも、君達は自分の手で稼ぐのです。決してマイナスからのスタートではない』という言葉をいただきました。今この不景気の時代でも自分達が生きている時代なのです。不景気だからと言って何もしなければ何も変わりません。1人で出来ないことも仲間と力をあわせれば大きな力になると思い何かやって見ようと考えました。

また、仲間と協力することで大手ハウスメーカーには出来ない事でも出来るのではないかと思います。そこで、地元の仕事は地元の職人の手でつくるのが出来れば最高だと思っていました。

## 地域密着型優良住宅協力会社

大工	菱田工務店
基礎工事	山辺建工
屋根工事	小松瓦店
内装工事	ヤマザキ装飾
電気工事	関根電気商会
設備工事	中沢商店
建具一式	片山木工所
一般資材	とみや
板金工事	手塚板金
塗装工事	三井塗装
防水工事	池田防水加興

そこにちょうど私の兄が家を建てることになり青年部の仲間に協力して頂き只今建設中です。

協力事業所は別記のとおりです。

まだまだ、段取り等多難続きですがよい家が出来るかと確信しています。なぜなら、坂城町にも若くて腕のいい職人がいるからです。職は違えどお互いに刺激し合いよい家を作って行きたいと思えます。この試みが1軒、2軒と継続して行きたいと思えます。家を建てようとお考えのお客さまお気軽に御相談下さい。お待ちしております。



## 「地域企業のネットワーク戦略」

### 新春経済講演会

平成23年2月4日に坂城テクノセンターで、(社)俯瞰(ふかん)工学研究所代表理事、東京大学名誉教授の松島克守氏の講演会が開催されました。

氏は、長野県産業振興戦略会議委員として、県の産業振興プランを策定するなど、ビジネスモデルの第一人者であります。この視点から繰り出される経済界の将来展望、経営戦略は斬新であり、また変化の激しい時代のなかで、いかに高い視点から戦略をたてるのが重要であることを実感せざるを得ない講演会となりました。

## 商工会からのお知らせ

### 小規模企業共済 加入拡大について

平成23年1月から、個人事業主の「共同経営者」も加入できるようになりました。(個人事業主1人につき2人まで)詳しくはパンフレットをご覧ください。

お申込書類は商工会窓口でございます。お気軽にご相談ください。

【申込時必要なもの】  
小規模企業共済契約申込書  
申込金(1か月分の掛金)  
印鑑(認印と銀行印)

【注意事項】  
・別添「共同経営者の地位で加入を申し込まれる方へ」をご覧ください。

将来、独立開業のれん分け・自己都合で退職予定がある方は、納付掛金を下回る場合がございますので特にご注意ください。

・3月～5月までの申込について混雑が予想されます。手続きについて少々お時間がかかりますのでご了承願います。

・契約者個人名の口座からの自動振替となります。



おじゃまします

さかき新企業人インタビュー⑪

## 地元にも愛される温かみのある タクシー会社を目指して

はたやまてつじろう  
畑山哲次郎さんプロフィール

ひしこタクシー株式会社 代表取締役

昭和48年、戸倉上山田生まれ。長野高専から長岡技術科学大学・大学院に進み、セラミック加工を研究。卒業後はアピックヤマダに就職、サラリーマン生活を経て平成12年にひしこタクシー代表取締役役に就任。奥様と小学1年生のお嬢さんの3人暮らし。決まった休みがなかなか取れないなか、休みの日は子供と過ごす時間を大切にしているという。学生時代に熱中したサッカーやスポーツは、今はもっぱらテレビ観戦という。

近隣の戸倉上山田で親子4代という歴史あるハイヤー会社を実家に持つ畑山社長。ご自身は会社員時代を経て坂城で唯一のタクシー会社である「ひしこタクシー」の経営を継ぎ、この世界に入った。景気には左右されやすい業種とはいえ、「地元住民、特にお年寄りの足として欠かせないサービス」との強い思いで事業に取り組む。

——まず御社の歴史をお話ください。

「当社は昭和36年の創業以来、地元の皆様や出張で来られるサラリーマンにご利用いただきました。しかし、10年程前に前経営者が辞めることになり、平成12年に私が事業を引き継ぎました。30年以上、地元にも馴染んできた会社ですから、社名の『ひしこタクシー』もそのまま引き継ぎました。現在は従業員14人、8台の普通タクシーで営業しています」

——社長ご自身の経歴は？  
「私は戸倉上山田で4代続

くハイヤー会社の4男坊です。家業を継ぐ立場ではなかったのですが、好きな分野に進み、大学・大学院ではセラミック加工を研究していました。卒業後は半導体製造メーカーに就職しましたが、結局、祖父や父と同じ仕事をするようになりました」

——タクシー業界の現況はいかがでしょう？

「やはり厳しいといえますね。タクシー業界というのは小売業と同じで景気の影響を直接受けますし、景気が回復傾向にあっても最後に追いつくような業種です。坂城は工業の町ですから出張旅の需要はありますが、昔に比べれば利用者は減りました。また、これといった観光資源がないので観光客の利用も少ないです。今、ご利用いただいているお客さまの多くは地元のお年寄りです。だからこそということでもないのですが、地域により密着した、地元の人たちから愛されるタクシー会社を目指さなければならぬ、と思っています」

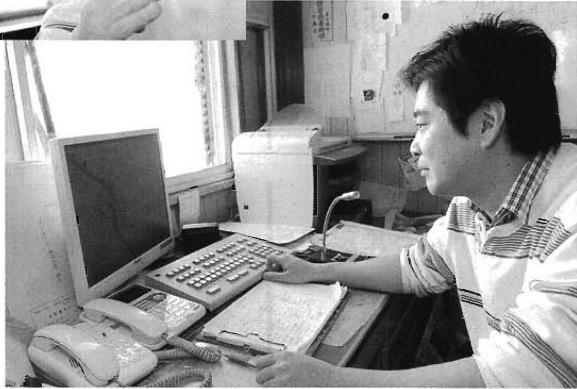
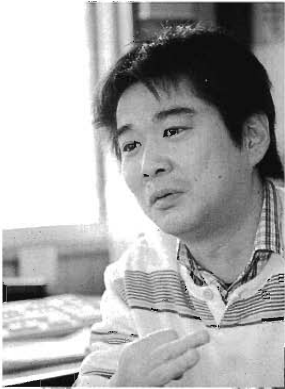
——今、社長が座っておられるこの机。パソコンモニター

があり、無線マイクがあります。タクシー運行の司令塔ですね。モニターに地図が映っていますね。

「モニターに映っているのは坂城町の地図です。各タクシーにGPS端末を搭載してリアルタイムで各車がどこを走っているかが視覚的に確認できます。このシステムを導入したのは一昨年ですが、配車の管理やルート確認など、効率は格段に上がりました。当社は電話での配車がメインでお客様はお年寄りが多いですから、できるだけお客様をお待たせしないなど、より迅速なサービスが可能になりました」

——今後の展望についていかがでしょう。

「特に新しいことは考えていません。地域の人に気軽に使ってもらえる親しみのあるタクシー会社であり続けたいですね。通院に利用されるお年寄りも少なくないので、お客様に大しては、形式的な接客マニュアルでなく、心のこもったきめ細かな気配りができる温かみのあるタクシーを目指しています」





## おじゃまします

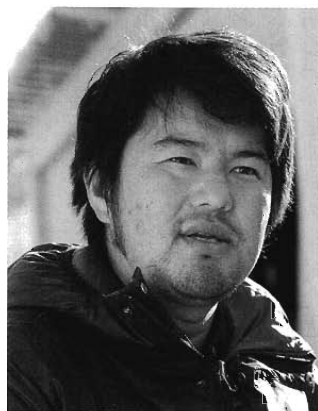
## さかき新企業人インタビュー⑫

ひし だしょうへい  
菱田昌平さんプロフィール

菱田工務店 代表

昭和53年、坂城町生まれ。職人の世界に憧れ、19歳で大工棟梁に弟子入り。5年の修業を経て26歳で独立、今は若き親方として忙しい毎日を送る。また「信州木の家」「削ろう会」など工務店や職人仲間とのネットワークにも積極的に参加。趣味は映画（ビデオ）鑑賞でヒーローズやFRINGEなどのアメリカTVドラマにハマっている。「成せば成る」がモットー。「どんな仕事でも向き合えば必ず答えは見つかると思っています」と言い切る。

# 木と技術と 感性にこだわる 若き大工棟梁



20代半ばで一人大工として独立。厳しい修業時代からさまざまな現場経験を経て、自分なりにやりたいことが見えてきたという菱田社長。木と技術にこだわり、見聞を広げ感性を磨きながら、木の国・信州らしい、そして自分らしい家づくりを目指している。

——大工を目指したきっかけを教えてください。

「小さい頃から物づくりが好きでしたが、通信制高校に通っていた頃、アルバイトをしていたサッシ店で大工という仕事を紹介されました。それがきっかけですね。高校を中退してこの世界に飛び込み、紹介された丸子の大工棟梁の下で5年間修業し、木造建築・大工仕事を学びました。」

親方は当時70歳ぐらい。年齢から言えば私の祖父と同世代です。昔かたぎの方で、昔ながらの伝統的な大工技術をマンツーマンでみっちり学ばせていただきました。厳しい修業でしたが、これが今の自分の大きな財産になっている

と思います」

——木や素材、木組みにこだわる生真面目ともいえる今の家づくりの基本を培ったので

「ええ、大工工務店といえども経営ですから利益を考えたわけではないと思います。しかし、利益第一主義ではなく、本当にいい家、お客様に喜んでいただける家づくりをしたい。親方にそういう意味での職人気質や大工仕事の厳しさを教えていただいたと思います」

——いい師匠にめぐり合えたといえますね。そういう菱田社長にとって『家づくり』『大工』とはどういうものなのでしょうか。

「現在は年1〜2棟のペースで新築住宅を手がけています。設計・プランニングに半年ほどかけ、お施主様とじっくり打ち合わせをしながら丁寧な仕事をやるよう心がけて家づくりを進めています。プランニングの中で、お施主様が考えておられるイメージを上回るようなプランをご提案すると、とても喜んでいただけます。設計だけでなく、実

際に木を削り、組み上げ、1棟の家を造り上げていくことに勝る喜びはないように思えるのです」

——『信州木の家』というネットワークでも活躍ですね。

「このネットワークは、県内の住宅ビルダーや信州木材認証製品センターなどが集まって長野県産材を使った家づくりを進めているもので、若輩ですが私も参加させていたいています。ホームページには工務店情報や木の家の見学会情報などが紹介されていますので興味のある方は覗いていただきたいですね。私の手がけた住宅も写真入りで紹介されています（笑）」

——最後に菱田社長の夢を教えてください。

「夢というか、一生涯、大工であり続けたいですね。ただ、現場一本やりいうのではなく、家づくりの最初から最後まで目を通せる、いわば設計士と大工の中間のような、昔ながらのしつかりした技術と常にみずみずしい感性を持つ棟梁……。そんな大工をめざしています」

# 青年部

## 進化する青年部

青年部副部長 宮下 智彦

日頃から青年部活動にご理解とご協力を頂きましてありがとうございます。

不況真っ只中から中島代表を中心に精力的に地域振興活動を行ってきた我々青年部も2年目の締めくくりに年を向かえております。第38回年末チャリティーでは内山委員長のもと、チームワーク&フットワークで大成功に開催することができました。

数年前からの不況により激減してしまった名入れだるまは、各役員が各企業などに青年部のチャリティー活動をご理解いただき昨年を上回る注文をいただきました。

新しい試みとしては、当日の会場レイアウトを一新にぎやかなだるま売り場作り、そして、部員手作りによる参道のイルミネーションなど参拝された方々にもご好評を頂き、次回に向けて新しい一歩が踏み出せたと



思います。

また、昨年に引き続き、町からの依頼を受けA B NふるさとC M大賞に応募いたしました。今年のテーマは『ねずみ大根と坂城のテクノロジー』のコラボレーションです。大雨の中、和平方原に撮影に行ったりねずみ大根をおろすための大根おろし器も部員の工場で作りました。結果は2年連続で78作品中30作品の最終選考会まで残り今回は奨励賞をいただきました。今年、青年部は発足40周年を迎えます。我々部員一致団結し活動していきます。皆様のご支援の程をよろしくお願いいたします。



# 女性部

女性部部長 滝澤 洋子

長野県女性部連合会では今、地域社会に貢献する事業として「地域資源を活用した健康食品づくり事業」を展開しています。自分の住んでいる地域で採れる物を大切にし、昔から伝わる食べ方を伝承しながら、新しい調理方法も考え、次の世代にレシビとして残し、県内外にPRし、健康づくりに役立たせよう。それを「女性部事業の活性化につなげたい」という目的です。

二月十日に松本で開催される研修会には、各支部の試食品の発表が行われました。それに先立ち北信支部では、一月二十日料理研究家の横山タカ子先生を講師に「健康と地域食材」というテーマの研修が行われ、長寿県と地域食材との密接な関りを学びました。①水が豊富でおいしい。水は全ての食物の源②五十九種類の伝統食物がある。それを生かす③発酵文化がある(漬物)添加物を入れないで天然の塩で正しく漬けた物は免疫

力をつける。健康な長寿は二汁三菜の生命ラインが生む。づくを出した丁寧な生活が基本なのです。坂城町女性部の活動では「若手後継者等育成事業」として、昨年九月二十八日坂城、戸倉上山田の女性部、青年部合同では初めての研修会が開かれました。自分分析する。仕事中の自分はどういう性格なのか?興味ある研修でした。



十一月に行われた商工会女性部全国大会で同時開催された「ふるさと小包グランプリ」は、坂城町女性部の出品「信州さかき町の味をおすそわけ」が上位六点に入選しました。三月から全国販売の機会が与えられます。地元の食材が全国発信される事をうれしく思います。

「蓮・竹輪・ドーナツ・五円玉穴あらば覗きみるべし未来永劫」  
今年、目先のことにとらわれず、穴を覗いてみましょうか。先のもつと先を覗いてみましょうかねえ。(関戸)



東京池袋でも展示されました

## 編集後記

年が明けてから漠然とした不安の中にある。多くの経営者から「先が見えない」との声を聞く。たぶん、自分でもそう思っているのだろう。

しかし、逆に先が見えてしまったら、やる気がなくなってしまうのかもしれない。

見えずに「不安」となり、見えて「不満」となる自分に悶々としていたところ、山根屋の沓掛喜久男さんが信毎歌壇で詠んでくださった。

「蓮・竹輪・ドーナツ・五円玉穴あらば覗きみるべし未来永劫」  
今年、目先のことにとらわれず、穴を覗いてみましょうか。先のもつと先を覗いてみましょうかねえ。(関戸)

## 広報編集委員会

- 委員長 関戸 啓司
- 副委員長 春日 忠雄
- 委員 池田 尚弘
- 委員 佐藤 洋子
- 委員 中島 新一
- 委員 滝澤 洋子
- 委員 宮下 智彦